

チャレンジ

統一地方選

虐待は脳にダメージを与え、後遺症は長く残ります。二次障害も発生します。この二次障害により三次障害が発生します。私は誰からも手を差し伸べられることなく、むしろイジメに遭い(イジメも脳にダメージ)

虐待サバイバーが 生きやすい世の中へ

ジを与えます)、次々と雪だるま式に困難が大きくなっていく有様でした。現在も困難との格闘は続いていきます。この格闘にはお金も時間もかかります。支えてくれる人もシステムも必要です。

残念ながら虐待サバイバーに対する支援は、現に今、虐待を受けている子どもに対するものとは比べ物にならないくらい手薄です。

そのため、もがいてもあがいても困難から抜け出すことが出来ずに苦しんでいる人がいます。

私は、そんなサバイバーたちが生きやすくなるように世の中を変えたい。そう思っ立候補を決心しました。

他にも、「女性だといっただけで損することが多すぎる! 変じやない!」と子どもの頃から感じていたこと、さまざまにハラズメントを無くしたいと常々思っていたことなど、色々な理由があります。

全部はいつべんにできませんが、ひとつひとつ取り組んでいきたいと思っています。

こんにちは!

私が立候補を決意した理由をお話しします。

私は1968年に生まれました。2022年の世の中であれば児童相談所や警察が介入するであろう虐待を受けました。今あるような福祉制度が当時は存在しておらず、私は何らかのケアを受けることなく子ども時代を終えました。



今井りか (54)

茅ヶ崎市議選 (定数28)